



Technical Note 03-04

階層リストパレット

By Cha Yang, 4D Inc. Technical Support
Technical Note 03-04

(原題: Hierarchical List Palette)

概要

階層リストをコマンドで制御する方法を理解するための助けとして、項目追加や項目削除のインターフェースを持つサンプルデータベース(階層リストパレット)を紹介します。

4D の階層リストについて

4D の階層リストコマンドについて基本的な知っておくべきことをまとめておきます。

Count list items 関数は、実際に見えている項目の数を返します。この数は、リストの展開/縮小によって変動します。(注記・バージョン 2004 では、オプションの引数を渡すことにより、全項目の数を取得できるようになりました。)

Selected list item 関数は、選択された項目の位置を返します。この数は、最初の項目から見た相対的な示しています。(注記・バージョン 2004 では、オプションの引数を渡すことにより、選択された項目の参照番号を取得できるようになりました。)

APPEND TO LIST は、リストにまたはサブリストに項目を追加するコマンドです。ポイントは、新しい項目が対象リストの末尾に追加されるという点です。

INSERT LIST ITEM は、リストにまたはサブリストに項目を挿入するコマンドです。ポイントは、新しい項目が指定した項目の直前に挿入されるという点です。

サンプルデータベース

List_Name :

新規 閉じる 削除

韓流

▼ 冬ソナ

▼ 学生服

ゆきだるま

めがね

マフラー

ヨン様

チャングム

新しいリスト項目

安寧

挿入

挿入

☐ Before Item

☒ After Item

追加

置換

サブ項目

削除

閉じる

階層リストを作成し、簡単なクリック操作で項目を編集することができます。

メソッドについて

選択された項目の前に挿入

INSERT LIST ITEM コマンドがそのまま使用できます。

選択された項目の後に挿入

通常は選択された項目の次の項目の参照番号を取得してから INSERT LIST ITEM コマンドを実行します。ただし次のような例外においては別の処理が必要です。

リストが空

>Count list items が 0 を返さないことを確かめます。

選択された項目がメインリスト最後の項目

>メインリストであることは List item parent で分かります。

>Count list items と Selected list item を比較すれば最後の項目であることが分かります。
(INSERT ではなく APPEND を使用)

選択された項目がサブリスト最後の項目

>Copy list でサブリストを切り出し、List item position を調べます。

次の項目の前に展開したサブリストがある

>項目のメインリストを比較して、同じメインリストを持つ次の項目を見つけます。
(HL_FindParent メソッド参照)

項目にサブ項目を追加

はじめに対象となる項目がすでにサブリストを持っていないことを確かめます。サブリストがなければ、新しいリストを作成し、そのリストに項目を追加して SET LIST ITEM で対象となる項目をサブリストに置き換えます。

サブリストに項目を追加

メインリストの参照番号を取得し、続いてサブリストの参照番号を取得してから項目を追加します。

項目の置換

SET LIST ITEM コマンドがそのまま使用できます。

項目の削除

DELETE LIST ITEM コマンドがそのまま使用できます。